

## 1. 研究テーマ

生物多様性分野における外来生物の生態リスク評価に関する研究

## 2. 所属

国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター

## 3. 募集人数

研究テーマ型任期付研究員 1名

## 4. 研究内容

平成 27 年 6 月に特定外来生物ヒアリが日本に初上陸を果たし、大きな話題となったがその背景にはグローバル化による国際物流の増大および高速化があるとされ、今後も様々な新たな外来生物の侵入は続くことが予測され、それら外来生物の侵入ルートおよびプロセスの解明、国内における分布拡大予測、想定される生態影響、社会的影響の評価、を推進し、予防的対策を講じることは外来生物防除戦略の重要な課題となる。

また国内において既に侵入定着している外来生物の分布拡大も進行しており、ハクビシンやアライグマなど都市環境に適応し、人間社会に深く浸透し始めている種も存在している。これら外来哺乳類は狂犬病やマダニ媒介性の重症熱生血小板減少症候群 (SFTS) など人獣共通感染症の媒介者となるリスクも備えており、健康被害も視野に入れたリスク管理が必要とされる。

特に外来生物の分布拡大や都市部への侵入の背景には、土地開発による生息地の改変、里山の放棄、山間農村の過疎化、高速道路や鉄道など移送インフラの拡充など人為的な環境改変が大きく関与し、さらに長期的には温暖化による分布域の拡大、生態影響の重大化が進行するおそれも想定され、これらの環境要因の変化を含めた外来生物の短期的および長期的な生態リスク評価を推進し、防除対策に資する必要がある。

これらの課題を遂行するためには、外来生物に関する情報を収集し、多面的に分析を図り、確度の高い生態リスク評価のためのモデルを構築できる人材が求められる。

国立環境研究所は、当該分野における研究の中核機関として国内のみならずアジア・太平洋地域をリードしていくことが期待されており、本募集は、これら研究活動を多様な分野と積極的に連携しながら、生物多様性分野における外来生物の生態リスク評価を推進する職員を募集するものである。具体的には、以下に掲げた研究活動、あるいはこれらに関連する研究に従事する。

- (1) 今後侵入してくる、あるいは既に定着している外来生物の侵入ルート・侵入プロセスを解明するとともに、分布拡大予測を行い、想定される生態影響・社会的影響を定量的に評価し、侵入防止・分布拡大阻止を目指した防除戦略策定のための基礎的情報を提供する。特に今後予測される気候変動や土地利用開発、国際的な貿易量やルートの変化など、環境要因および社会的要因の変動も考慮した様々なタイムスケールでのリスク予測および影響評価を行う。
- (2) 外来生物と生態系・人間社会との関係性に着目し、環境保全あるいは再生による外来生物の侵入阻止あるいは分布拡大抑制の可能性をモデリングにより解明し、里山管理、都市環境整備など、外来生物防除のための具体的な環境整備対策を立案する。

(3) 生態リスク情報をデータベース化し、環境省の外来生物法や外来種被害防止行動計画に基づく防除事業推進のための基礎情報として提供するとともに、国際的な情報ネットワークを構築し、データベースをアジア・太平洋地域における外来生物情報のプラットフォームとして発展させ、日本国内およびアジア・太平洋地域における外来生物防除のための連携・協働システム推進のための情報基盤を強化する。

## 5. 応募資格

- (1) 採用時点で、博士の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む）、あるいは同等と認められること。
- (2) 生態学、生物地理学、遺伝学、生態毒性学、生物統計学など生物多様性や生態系に関連する分野において、野外調査、実験的研究あるいはモデリング研究の実績を有すること。実験的研究あるいはモデリングを主とする研究者については、野外調査を主体とする研究者と緊密な共同研究の経験を有すること。
- (3) 環境問題に関心があり、学際研究や社会実装などの多様な分野との連携を目指す研究志向があること。
- (4) 調査研究に必要な日本語および英語による十分なコミュニケーション能力と研究成果発信能力を有すること。

## 6. 提出書類 ※ (1) 以外は様式自由

- |  |     |
|--|-----|
| (1) 履歴書（写真添付、 <a href="#">所定の様式</a> を使用）                       | 1部  |
| (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、口頭発表別、競争的研究資金、学会・社会活動）                   | 1部  |
| (3) 主要論文別刷り又はコピー（3編以内）   | 各1部 |
| (4) これまでの研究概要（A4判1～3枚程度）                                       | 1部  |
| (5) 研究に対する抱負（上記の「4. 研究内容」に挙げた研究のうち希望する研究テーマを明確にすること。A4判1～2枚程度） | 1部  |
| (6) 所見を求めうる方の推薦状   | 2通  |

（国立環境研究所職員以外からの推薦状を1通以上、なお宛名は14. (1)に記載されたセンター長。推薦者の氏名と連絡先を明記）

※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

## 7. 応募締切

平成30年5月25日（金）必着

## 8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。面接日は平成30年6月中旬を予定。

## 9. 応募方法

郵送による。

（封筒に朱書きで「生物多様性分野における外来生物の生態リスク評価に関する任期付研究員応募書類」と記載すること。）

## 10. 雇用予定時期

平成 30 年 8 月 1 日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

## 11. 雇用期間

平成 30 年 8 月 1 日着任の場合は、任期は最長で平成 35 年 3 月末まで。

## 12. 勤務地

つくば本部（茨城県つくば市）

ただし、福島支部（福島県田村郡三春町）又は琵琶湖分室（滋賀県大津市）への転居を伴う異動が有り得る。

## 13. 処遇等

研究テーマ型任期付研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定（いわゆるテニユア・トラック制）。

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」（任期の定めのない職員として採用の場合は「職員就業規則」）、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規定によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

## 14. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

生物・生態系環境研究センター長 山野 博哉

TEL 029-850-2477

E-mail hyamano（半角で@nies.go.jp をつけてください。）

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 小池 克実

TEL 029-850-2316

E-mail koike.katsumi（半角で@nies.go.jp をつけてください。）